

令和2年度当初予算編成のポイント

令和2年2月
総務部財政課

令和2年度当初予算編成方針

I 最優先課題である西日本豪雨災害からの創造的復興に向け全力で対応

II 知事公約（第3ステージ）を実現するため、重点分野を中心に積極的な予算編成

- 5G通信技術活用策の芽出しやデジタルマルケティング施策の深化など、急速に進むデジタルシフトに対応し、地域課題の解決に向けて新たな施策を展開
- ① 南海トラフ地震への備えをはじめ、原子力防災対策など、ソフト・ハード両面から県民の安全・安心に直結する防災・減災対策を着実に推進
- ② 都市部から県内への更なる移住促進、子どもの愛顔応援ファンドを活用した子育て世帯への支援など、人口減少問題への取組みを強化
- ③ 東京オリ・パラに伴うイベント実施や日本スポーツマスターズ2020の開催、戦略的な営業活動やインバウンド受入など、地域経済活性化・実需の創出を追求

III 国の経済対策に係る補正予算に対応した2月補正予算と合わせ、地域経済に配慮した切れ目のない対策を実施

IV その一方で、徹底したスクラップ・アンド・ビルドにより、財政健全化にも目配り

◆ 令和2年度一般会計当初予算額：6,431億円（前年当初比 ▲9億円、▲0.1%）

*うち西日本豪雨災害対応分 135億円（前年当初231億円 ▲96億円）

【一般会計における主な歳入・歳出予算の比較】

（単位：億円）

区分	2年度(A)	元年度(B)	差引(A - B)	伸び率	備考
「歳入・歳出予算額」	6,431	6,440	△9	△0.1%	
歳入					
県税・地方消費税収入	2,144	2,010	134	6.6%	地方消費税清算金収入 + 102億円、地方消費税収入 + 54億円 など
地方交付税	1,680	1,640	40	2.4%	
県債	616	643	△27	△4.3%	退職手当債、臨時財政対策債の減 など
うち臨時財政対策債	217	223	△6	△2.7%	
国庫支出金	872	923	△51	△5.5%	災害復旧事業費の減 など
その他	1,119	1,224	△105	△8.6%	財源対策用基金繰入金、地方特例交付金の減 など
普通建設事業費	875	828	47	5.6%	
うち公共事業	619	546	73	13.4%	脈川水系緊急治水対策推進事業 + 19億円 など
うち県単独事業	163	194	△31	△15.9%	県民文化会館大規模改修事業 △20億円 など
災害復旧事業費	138	250	△112	△44.7%	
人件費	1,689	1,713	△24	△1.4%	退職手当の減 など
公債費	823	833	△10	△1.2%	元利償還金の減
社会保障関係経費	990	976	14	1.4%	幼児教育・保育の無償化や介護給付費負担金の増 など
その他	1,916	1,840	76	4.1%	地方消費税清算金支出の増 など

【一般会計当初予算額の推移】

（単位：百万円）

年度	当初予算額	対前年伸率
2	643,050	99.9%
元	644,000	103.4%
30	622,700	97.9%
29	635,770	99.3%
28	640,060	101.1%
27	633,220	104.3%
26	607,060	101.6%
25	597,690	100.0%
24	597,490	98.5%
23	606,390	101.1%

※過去最大：13年度 7,124億円

令和2年度当初予算の重点施策

1. 豪雨災害からの創造的復興

(◎は新規予算含む)

- 1 ○仮設住宅への巡回訪問など見守り支援と心のケア 1億15百万円
- 2 ○仮設施設で運営している野村保育所の移転改築 3億30百万円
- 3 ○新整備計画に基づく肱川水系治水対策の推進 32億 1百万円
- 4 ○グループ補助金による継続支援 49百万円
- 5 ○柑橘農家の早期復興に向けた支援 1億89百万円
- 6 ◎南予復興イベントの開催準備 19百万円

2. デジタル技術を活用した新たな施策展開

- 7 ◎デジタルシフトに対応するための総合戦略の策定 24百万円
- 8 ◎5Gを活用した愛南地域への遠隔医療システム整備 8百万円
- 9 ◎広域災害・救急等医療情報システムの5G対応 2億39百万円
- 10 ◎産業技術研究所への5G実験環境の整備(2月補正) 73百万円
- 11 ◎4K映像の伝送による農業生産現場への普及指導 23百万円
- 12 ◎5Gを見据えた乳牛生体情報の蓄積・解析 3百万円
- 13 ○デジタルマーケティングによる販路拡大や誘客促進 2億73百万円

3. スポーツ立県の推進

- 14 ○東京オリパラ聖火リレー開催と事前合宿等の受入れ 98百万円
- 15 ○日本スポーツマスターズ2020愛媛大会の開催 73百万円
- 16 ○日本代表選手への輩出に向けた競技力向上対策 4億31百万円
- 17 ◎障がい者・健常者がともに取り組めるeスポーツの振興 7百万円
- 18 ○緊急避難道路の整備、河川、砂防施設等の改修 41億50百万円
- 19 ◎鹿森ダム貯水池の堆砂除去 1億円
- 20 ○自主防災組織の中心役割を担った防災士養成の加速化 18百万円
- 21 ◎県庁第二別館の建替えなど県施設の耐震化対策 17億27百万円

5. 人口減少対策

- 22 ◎子どもの愛顔応援アワードを活用した子育て支援 1億66百万円
- 23 ○「あのこの愛媛」を活用した雇用・移住マッチングの促進 40百万円
- 24 ◎移住先での仕事を実体験できる機会の提供 7百万円
- 25 ○介護や農林業における外国人人材の受入促進 59百万円

6. 地域経済の活性化

◀商工・観光▶

- 26 ○サイクリングしまなみ2020の開催 38百万円
- 27 ○県産品ポータルサイト「愛媛百貨選」を活用した営業活動 19百万円
- 28 ○県内ものづくり企業の新製品・新技術の開発支援 61百万円
- 29 ◎将来の地域産業を担う専門的職業人の育成 16百万円
- 30 ◎来島海峡大橋を核としたしまなみ海道エリアの魅力発信 30百万円
- 31 ○台湾をはじめ、ソウル、上海便の運航支援 2億65百万円
- 32 ◎えひめこども城ととべ動物園等の魅力向上対策 3億21百万円

◀農林水産業▶

- 33 ◎えひめの凧・あかね和牛・媛スマの生産拡大とブランド確立 54百万円
- 34 ○市町連携による新たな森林管理システムの推進 2億31百万円
- 35 ◎県1漁協の経営基盤の強化に向けた支援 10億13百万円
- 36 ◎アコヤガイの死の原因究明や生産設備の増強支援 18百万円

7. 医療・福祉等の充実

- 37 ◎プラチナドクターバンク等による新たな医師確保対策 1億23百万円
- 38 ○県立新居浜病院の建替え整備(病院事業会計) 56億51百万円
- 39 ○介護現場へのA・I・C・Tの導入促進 33百万円
- 40 ◎児童虐待防止に向けた医療機関による支援体制の整備 5百万円
- 41 ○海洋プラスチックごみの削減とプラ代替製品の普及促進 41百万円

8. 教育・文化

- 42 ◎中学生の英語力向上対策の推進 31百万円
- 43 ○四国中央市への新居浜特別支援学校分校の整備 1億10百万円
- 44 ◎ネット情報を取捨選択できる能力の育成アプリの開発 12百万円
- 45 ○愛媛国際映画祭の開催による映像文化の振興 40百万円
- 46 ○えひめ愛顔の子ども芸術祭2020の開催 14百万円

9. 社会資本整備

- 47 ○大洲・八幡浜自動車道や岩城橋の整備促進 67億69百万円
- 48 ○山鳥坂ダムの整備促進 14億53百万円
- 49 ○JR松山駅付近連続立体交差事業の整備促進 33億98百万円

西日本豪雨災害への対応

◆ 西日本豪雨災害からの創造的復興に最優先で取り組む

令和2年度当初予算 40事項 137億円 ≪うち一般会計135億円、特別会計2億円≫

令和元年度2月補正予算 4事項 22億円 ≪うち一般会計 22億円≫

これまでの豪雨災害対応予算：1,296億円

H30:952億円 R元:207億円 R2:137億円

1. 愛顔を取り戻す生活再建支援

- 仮設住宅等への巡回訪問などの見守り支援 1億14百万円
- 相談窓口の設置による心のケア 2百万円
- 被災児童・生徒に対する就学等支援 17百万円
- 仮設施設で運営している野村保育所の移転改築 3億30百万円
- 仮設住宅の提供など応急救助経費 ≪特別会計≫ 1億58百万円 など

2. 安心して暮らせる防災機能の強化

- 避難所ごとの運営マニュアルのモデル策定 4百万円
- NPOやボランティア団体等との災害時の連携体制づくり 2百万円
- 戸別受信機等の設置や屋外スピーカー改修支援による災害情報伝達手段の強化 1億23百万円
- 災害情報システムの高度化 86百万円

◎ は新規予算

- 国・県が一体となった肱川水系治水対策の前倒し及び新たな整備計画に基づく対策の推進 ≪当初≫ 32億 1百万円
≪2月補正≫ 3億67百万円
- 再度災害防止に向けた砂防施設の整備や治山工事 22億42百万円
- 決壊の危険性が高いため池の部分改修 12百万円 など

3. 活カと賑わいを創出する産業復興

- やむを得ずグループ補助金の申請手続きが遅れている事業者への継続支援 49百万円
- 柑橘園地の再編復旧 62百万円
- 柑橘農家の早期復興に向けた支援 1億27百万円
- 被災3市を周遊するワンコイン観光バスの継続運行など南予への誘客促進 7百万円
- 南予復興イベントの開催準備 19百万円 など

デジタル技術を活用した新たな施策展開

◆ 5G通信技術活用策の芽出しやデジタルマーケティング施策の深化など、急速に進むデジタルシフトに対応し、地域課題の解決に向けて新たな施策を展開

令和2年度当初予算 12事項 6億37百万円

《5G関連：5事項 2億97百万円》

令和元年度2月補正予算 1事項 73百万円

《デジマケ：7事項 3億40百万円》

《5G関連：1事項 73百万円》

① 5G活用に向けた医療の充実や産業の振興

- ◎ デジタルシフトに対応するための総合戦略の策定 24百万円
- ◎ 5Gを活用した愛南地域への遠隔医療システム整備 8百万円
- ◎ 広域災害・救急等医療情報システムの5G対応 2億39百万円
- ◎ 産業技術研究所への5G実験環境の整備
《2月補正》 73百万円
- ◎ 4K映像の伝送による農業生産現場への普及指導 23百万円
- ◎ 5Gを見据えた乳牛生体情報の蓄積・解析 3百万円

② デジタル戦略の推進

◎ は新規予算

- デジタルマーケティング施策の導入促進と取得データの管理・分析による活用施策の推進 17百万円
- 「すご味」「すごモノ」ブランディング動画の配信による県産品ポータルサイト「愛媛百貨選」への誘導 79百万円
- 「愛媛百貨選」へのアクセスデータの分析によるターゲットを明確化した営業展開 19百万円
- 7か国への動画広告の配信による多言語サイト「Visit Ehime Japan」への誘導 98百万円
- 「Visit Ehime Japan」へのアクセス分析による外国人旅行者への情報発信力の強化 22百万円
- 国内外のサイクリストへの動画広告の配信による「Cycling Ehime」への誘導 79百万円
- 「e移住ネット」へのアクセス分析による新たな移住希望者の開拓 26百万円

特別枠

◆ スクラップ・アンド・ビルドの徹底により捻出した財源を有効に活用

◎は新規予算含む

「防災・減災強化枠」 53事項 97億円

◆ 南海トラフ地震などの大規模災害への備え

- ・諸課題への対応 (44事項) 54億円
- ・防災・減災対策事業 (9事項) 43億円

元年度当初

2年度当初

△1億円
(△1.2%)

○諸課題への対応 (42事項) 55億円	○諸課題への対応 (44事項) 54億円
○防災・減災対策事業 (9事項) 43億円	○防災・減災対策事業 (9事項) 43億円
98億円	97億円

◎ 南海トラフ地震臨時情報を活用した情報伝達訓練

○ 防災士養成の加速

○ 戸別受信機等の設置支援など情報伝達手段の強化

○ DMATの体制強化

○ 肱川水系治水対策の前倒し実施

○ ため池の豪雨災害対策

○ ドローンを活用した原子力防災対策の強化

○ 松山東警察署の建替え

◎ 県庁第二別館の建替えなど

○ 緊急避難道路の整備

○ 河川堤防、海岸、港湾、砂防施設等の改修・補強

◎ ダム貯水池の堆砂除去など

「愛顔枠」 177事項 61億円

◆ 人口減少対策や地域経済の活性化など重要課題への対応

(元年度：165事項 58億円)

◎ デジタルシフトに対応するための総合戦略の策定 24億円

◎ 5G活用にに向けた医療の充実や産業の振興 34億円

○ 地域課題の解決につながる創業支援(EGF)の推進 59億円

◎ 就職氷河期世代への能力開発や安定就労促進 30億円

○ 中学生の職場体験による将来の地元就職の促進 90億円

○ CLT建築物の建設等への支援と普及促進 390万円

◎ 真珠産業の振興計画の策定と販路拡大支援 500万円

◎ 松山空港利用拡大に向けたエアポートセールス強化 800万円

○ 四国への新幹線導入に向けた機運の醸成 600万円

◎ スマホ健康アプリを活用した疾病予防の推進 1500万円

○ 障がい者の芸術文化祭の開催や支援体制の充実 1100万円

○ えひめ結婚支援センターによるマッチング支援 2600万円

◎ 認定ブライダル支援センターによる多様な教育機会の確保 4000万円

○ えひめ愛顔の子ども芸術祭2020の開催 1400万円

○ 日本スポーツマスターズ2020愛媛大会の開催 7300万円

○ 愛・野球博による野球王国愛媛の認知度向上 3600万円

○ 自転車新文化・四国一周サイクリングの推進 1億1300万円

○ 台湾をはじめ、ソウル、上海便の運航支援 2億6500万円

○ 外国クルーズ船の受入態勢整備と誘致促進 2800万円

◎ 気候変動への適応策の調査研究 1200万円

◎ 総務系事務の集約化や行政事務の効率化 2億4200万円

○ 行革甲子園の開催による好事例の横展開 7000万円

など

令和2年度当初予算（特別会計、企業会計）

◆特別会計予算額（15会計）：2,576億37百万円（対前年当初比 △117億 8百万円 △4.3%）

…公債管理：借換債の減

災害救助：被災住宅の応急修理費の減 など

◆企業会計予算額（3会計）：724億 5百万円（対前年当初比 +76億30百万円 +11.8%）

…病院事業：県立新居浜病院の建替経費の増

電気事業：肱川発電所更新経費の増 など

令和元年度2月補正予算

一般会計予算額：△11億93百万円

◆経済対策分 180億60百万円

- 河川、砂防、ため池、治山など防災・減災対策の推進 50億33百万円
- 道路、街路、交通安全施設等の整備 66億円
- 大洲・入幡浜自動車道、岩城橋の整備促進 10億25百万円
- 肱川水系治水対策の前倒し実施 3億67百万円
- 直轄負担金（道路、河川等） 6億91百万円

◆一般分 53億89百万円

- 今治新都市中核施設整備補助金 6億91百万円
- 廃棄物処理センター運営費補助金 25億21百万円 など

特別会計予算額：42億47百万円

- ◆一般分〔国保〕○国民健康保険の給付費等 55億91百万円
- ◆減額分〔公債〕○公債費利子の減 △13億44百万円

- 産業技術研究所への5G実験環境の整備 73百万円
 - 産地が一体で取り組む施設整備への支援 6億98百万円
 - 農地や林道などの基盤整備 12億24百万円
 - 水産研究センターの種苗生産体制の強化 1億円
 - 国営緊急農地再編整備事業負担金 1億84百万円
 - 高齢者、障がい福祉施設の機能強化 1億 4百万円
 - CSF防疫体制の強化に向けた検査機器整備 9百万円
- 【国庫債務負担行為 1事項 2億40百万円】 など

◆減額分 △246億42百万円

- 国内示の減、公債費利子の減等による不用額 など

企業会計予算額：2億92百万円

◆経済対策分

- 〔電気事業〕○国管理ダムの浚渫に係る負担金 39百万円
- 〔工水事業〕○工業用水道施設の耐震化 2億53百万円

(参考) 財源対策用基金の状況

- ◆ **財源対策用基金残高 (元年度末見込み) 327億円**
 ≪財政健全化基本方針の目標残高 430億円≫
- ◆ **2年度当初予算の財源不足への対応として、58億円を活用 ⇒ 2年度末残高見込：269億円**
 ○ 目標残高の確保に向け、取崩し額の縮減と計画的な積み増しに努める。

(単位:億円)

区 分	30年度末 残 高	元年度中		元年度末 残高見込	2年度当初 取崩し	2年度末 残高見込
		積立て	取崩し			
財政基盤強化積立金	173	22	△ 27	168	△ 48	120
県債管理基金	179		△ 20	159	△ 10	149
合 計	352	22	△ 47	327	△ 58	269

(参考) 県債残高の状況

- ◆ **県債残高 2年度末見込み：1兆366億円**
 ○ 地方交付税の代替財源である臨時財政対策債の発行は縮小されるものの、残高は高止まり
 ○ 建設地方債の残高は、財政健全化の取組みにより着実に減少してきたが、豪雨災害への対応で一時的に増加

区 分	全 体	臨時財政対策債		建設地方債等	臨財債の 占める割合
		30年度末残高	1兆 142億円		
元 年 度	1,126億円	起債見込額	4,578億円	5,564億円	45.1%
元年度末残高 (見込)	760億円	元金償還額	226億円	900億円	20.1%
2 年 度	1兆 508億円	起債見込額	255億円	505億円	33.5%
元年度末残高 (見込)	616億円	元金償還額	4,549億円	5,959億円	43.3%
2 年 度	758億円	起債見込額	217億円	399億円	35.3%
元年度末残高 (見込)	1兆 366億円	元金償還額	270億円	488億円	35.7%
(参考) 2年度末 - 元年度末	△ 142億円	2年度末残高 (見込)	4,496億円	5,870億円	43.4%
		(参考) 2年度末 - 元年度末	△ 53億円	△ 89億円	